

孰れども一ト通りの理窟を有し、又哲學の上にも一廉の根據を持つてゐる、則ち快樂派の主張する處に依れるば、「快樂は快樂せんが爲めに快樂する」のでなく、恰も小供が自然の要求に依つて遊戯するが如く、青年も亦自然の要求によつて快樂を爲すものであるから此の感受性が旺盛の時でなければ、快樂は快樂の眞意義を爲さぬのである。若し之を推めて押すので、乾燥無味の生活を送りつゝ、愉快を老後に期待するが如きは大に間違つた造り方である。其れに人間はいつ死の神に招かるゝかも知れぬ、業氣に罹つたり、死の黒手に握られたる、則ち快樂派の主張する處に依れば、萬事終りだ、快樂は青年時

白和西雨時報

NOTÍCIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Conselheiro Furtado
No. 89
S. Paulo, Brazil
Proprietário e editor
Seisaku Kuroishi

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

四

軍は我軍の爲めに其の退路を遮らざるべく、本隊との聯絡を絶たれしが、自ら軍の先頭に立ちて士卒を鼓舞激励し遂かに我軍を襲ひ辛うじて其本隊と聯絡

軍を其總司令官として戴くに至つ
ししながら露國軍隊は曾てガリ^ア
を蹂躪し常に將軍と共に運命を與
せし勇敢なる軍隊には非ずして小
且の意志薄弱なる合も直^タ皆^ハム

アタは最初の年に比し著しく其量を減する故に豫め植付に先き立ち耕耘の終りに肥料を埋むるのが當然である此の肥料は堆肥、動物肥料、塵汚物其

人生の目的は何か

軍は我軍の爲めに其の退路を遮られ本隊との聯絡を絶たれしか自ら軍の先頭に立ちて士卒を鼓舞激励し遂かに我軍を襲ひ辛うじて其本隊と聯絡する事を得た其の時の勳功によりて將軍は名譽あるゲオルギー十字章を授けられた日露戰後將軍は公使館附武官として支那に派遣せられ再び其の旅行を繼續し蒙古、中央支那等専ら内地の研究に從事して居た。今回歐洲大戰の始まると同時に西南部にありてガリシャ戦線の諸所に於て其の勇名を歎かして居たが突如として將軍の軍事的行動は終結を告ぐるに至つた即ち後方にありし叛逆者の爲めに軍隊は銃を抛つて退却し將軍は不幸にして重傷を負ひ遂に嵌當時の第四十八師團長コルニロフ將軍が嵌軍の爲めに俘虜となるに至つたのは單に嵌軍が將軍を包囲したる新たに来る大正七年一月元旦に本紙は新装を凝して讀者諸君に見へんが爲め紙數を増し勤めて諸名士の名論卓説を首め和歌俳句等を掲載せんとする大方の諸産奮つて本紙の爲め御投稿玉はらんことを(メ)切十二月廿日

社告

歐洲大戰のた庇で草麻の實が高岡賣れる云ふので、當地に於ても第四號には其の需用の理由が既述べてあるから、茲には單に栽培法述べて農家の参考にしたいと思ふ。此の草麻と云ふ植物は所を播ばずして水份を要求するものであるから、何れの土地にも生長するものであるが併し溫暖國では比較的の收穫なく赤道地帶即ち熱帶方面にはく生育繁茂するものである。只一夕降雨あるを要するのである。

果實の成熟迅速なる葉形の巨大して無數なるは營養分の吸收を大なるを以て豐壠なる土地は勿論可なり。山林地温氣に富める雜木林等の地に植付けるのが適當である、唐煙草に適する土地は勿論可なり。

に河流に沿ひる場所はブレージ

る八寸位の深さに耕し土塊はふんいし總て水通し良い様にせねばならぬ、茲に大切なことは前述の通り

分の吸收甚しきを以て二年目の收

軍を其總司令官として戴くに至つ然しながら露國軍隊は曾てガリシアを蹂躪し常に將軍と共に運動をせし勇敢なる軍隊には非ずして小且つ意志薄弱なる恰も道を踏み迷ふ如き烏合の衆である(勿論全軍衆を覺醒せしめ全軍を救濟するに適した處置であつて露軍も今後必ず盛返すであらうと思はれた際に相がコルニロフ將軍の手腕を見込み突如馗首さるゝに至つたのは返りで總司令官に任命したのは甚だ機智も遺憾の極みである吾人思を名譽と義務を忘れざる將軍の手腕を埃たなければならぬケレンスキイ國の前途に致す時轉た無量の感慨打たれざるを得無い

◎農界資料

草麻の栽培

は最初の年に比し著しくその量を減する故に豫め播付に先き立ち耕耘の終りに肥料を埋むるのが當然である此の肥料は堆肥、動物肥料、塵汚物其他植肥即ち唐糞殻、豆殻等如何なるもので差支へないが最も有力なるものは腐熟せる畜糞肥料に木灰を混せたるもので一アルケールに五萬キロの割合で充分である。

前に云ふ事を忘れたが當サンバウロ州に於ける播付の時期は種類によりて多少異なれ概して雨期の開始前若くは其當時を最良とす。

そこで前記の播付準備が出来たら種子の大小に準じて各穴の間を定め豫め十二三時間水中に浸し置きたる種子をクワの角又は尖りたる棒にで一寸五分位の深さに穴を掘り一穴につか三つ位播付土被せをするのである、穴ごとに亘離を木振の大なる種類のものなれば二メートル半普通の大きさのものなれば四尺五尺四方の間隔を取らねばならぬ、前者の場合ならば一アルケールに付き十六乃至二十キロ後者の場合なれば三十乃至四十キログラムあれば充分なりとす。播付した種子は七八日すれば發芽する故其生長を待ちて第一除草を行ひたる後高さ七寸位に達せば静かにウロコ抜きをして最も強壯なるものを残し置く可し、然る後第二回除草を行ふのであるが其際に土寄せをなすの必要がある、普通マモナの播付と同時に間作として豆ごと米を植付くるが此等の間作の収益で除草等の費用が忽ち出来る成熟は約四ヶ月後であつて實房は暗黒色を呈す頃即ちサヤの破裂せざる前に切り取らねばならぬ、從つて収穫は一時に行ふ譯に行かぬよりて晴天の日を撰んで女子の手に乾し打きて寄せ集め形を大小に據り分類するのである。

収穫量は一アルケールに少くも五千基都合宜くば一萬基以上に上るべし當市の買入相場五十キロ入の一俵につき三十五ミルレイス即ち一キロの收穫せるものは豆の夫れに似て日にささるも特處士泰養付を七百レイス又種子用のも賣却値段は一俵に付き六十七ミルレイスなり。

讀者三記者

伯刺西爾時報記者足下、伯國は氣候も良し、生活も安樂だし、周囲の空氣も穏かだし、激甚な競争もないのに、近頃段々同胞の中から氣狂が出だしましたが、是は一體如何なる原因でしようか(不審生)

此の事に就ては記者も未だ精しく研究して見ませんから、心理學上とかふだとか、醫學上あつたかた答へする譯には行きませんが、記者の是まで見た所の精神病者の多くは、餘りに將來の成功(金のみを儲ける意味の成功)を急ぐ爲め自然身體にも、精神にも無理が出来、此の無理を更に押し通さふことで、又二重三重の無理を爲し、而して此の無理が不幸失敗に終る時は深く失望落涙の淵に落ち沈み、是が原因でつい腦組織の不健全なる所から精神を亂したと云ふ風に見ゆるのである、要するに人生には無理と云ふことは禁物である西洋の諺にも、一つの無理を仕述べるには二十の無理をしなければならぬと云ふことがあるが、實際の通りだと思ふ、人間の一生物は短かい様な長いものである、其れに互のする仕事は子孫にまでも傳はることを思へば、餘り性急に無理をしてはならぬのである、況んや不正な事に於てをやである。本紙の社説にもある通りに苦労して、一身一家を安泰幸福の域にまで引き揚げねばならぬが此の引き揚には聊かたりとも無理があつてはならぬ、彼の西洋人の旅行の如く、歩きながら楽しみ、楽しみながら歩くと云ふ行為を私共の日常生活に移してしまふことが一番大切であり、成功の方法であると思ふ(記者)

▼衛生講話▲
胃腸病の話
(二) 急性胃カタル

醫師 高岡專太郎述

●胃腸病の話
(二) 急性胃カタル

▲微候此病氣は皆さんが大概二度は経験される筈で俗に食傷として終ふ必要がある素人用としては

軍にあるが如し(紐育四日電)

●露獨休戰條約
東京電報 (桑港近信)

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合
伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

「イグアペ植民地

場合には直ちに下し薬を用いて排泄

アベ平原に在る伊軍及英佛援兵聯合

伯林の所報に依れば露軍戰線に於て
休戰條約の交渉開かれたりと(ロン
ドン五日電)

●米作地として有名なる
イグアペ植民地

●日本近信

▲一粒の飯一滴の水

食はす飲ますに水中の孤島にある災民——

大戰亂の際には雨が多いこの傳説あるが是が事實となつたのか否かは知られざる。曩には歐米にて度々洪水の襲來を見更に近頃は支那の大洪水今は我が身の上となつて東京、大阪を始め殆ど全國に洪水氾濫を見るに至つたが其の災害は三十餘年振の大惨劇で戦争の御陰で金儲けした成金連の比較的災を蒙るの少にして無辜の下民が大部分を占めて飢渴に泣くに於ては天公も亦無情なる哉を歎せざるを得ない(記者)

▼更に堤防斷切

大野、百島村と西島村との利害衝突

アワヤ血の雨

船の燈を見るや二階に住める者等は水をくさりと絶叫し班は一々水を與へたり

又神津村の三矢附近は大抵淀川堤

防に避難せるが逃げ遅れて警察の救

護船に救はれた六百十餘名は三矢

小學校と四箇の寺院へ分配して避難

せしめ居れるが是れとて水中の樓閣

在郷軍人會員等の内属強の若者六七

十名を運びて西島閘門の北方約四

丁の堤防上に至りたる處對岸の堤防

を警戒し居りし西島村民が之を發見

して大反対を唱へ所を切り開く時

▲旅行者の談に由れば九月三十日

長野縣西筑摩郡三岳村吉田金太郎妻

△相場を定め三升或は三升三合で

賣却したり又は二圓五十錢の壘を七

し三升五合の市場で定まつてゐるの

に其價相場に依らずして勝手に

</

三人旅

南
鳩
生

前から青柳さんと、藤田さ

の馬車に乗り、北島ドクトルは馬で分家である、其れに直ぐ家の前をレヂストロ植民地一週と言ひ置いて緩く折れるリベラ河は、一切の出掛けられたが、四時頃になると空一ものを美化して、蕭然俗塵を絶する面が黒雲となり、冷めたい風さへ吹き出したので、若しや又雨ならぬかの想があつた。

口になじ

のくても宜いのかね……」^{おなまへ}「宜ひながら枚ほどの處が乗組員の寢室であり食心地善げに更に杯を傾けたさうな^{かたむけた}。○暫くすると客は偶と思出したやうな顔をしながら女中に向つて「何だか金を持って來たやうな氣持もするが一寸其處の袋戸棚を開けて見て呉れ」と言つたさうな。○文中には言はるゝ如きを用ひ得る。○

のくである歐國に眼のくらんだ國民すば間違ひが起りやすい、第三挺堂であり雪隠であるから非常事變の際には乗組員の半數づゝが鐵板の上にゴロ寝をする食事はみんな堅パンら何になる。

▲問題は何時も機械にばかりあるしてたゞ困るのは雪隠である汚物はものちやない御手近な脇の下をさぐビストン仕掛けで外部へ排出されるつてお互に覺悟の在所を見極めるが語つたのは

▲なる程と合點がれる、この潜水艦は船の演習中には母艦のマストに危険信号があげられて、一哩以内へは汽船の生水によつて定まつて居る。

（女中）言ひるゝ様に御用舟か研究水素ガムニアの労作はい
て見ること其處に一箇の小さな玄袋つまでもあこへ殘る密閉された艇内
▲潜水挺はすべて神經過敏に船の姿が表面から見ないので、最

さが横はつて居たから早速取り出してでは實もつて耐つたものぢやない機
貴方のですかと問ふご客よお聞き入り

揚に首きながら一寸中を開けて見
▲調節も船の操縦も問題ではある
變ることは絶體に禁物としてあるか
が挺長の時に一度冷汗を搾らせられ

て奥れと言つたさうな
◎ハイさばかりに女中は信玄袋を開
番の大切である潜水艇に下痢患者は
か何よりも乗組員の腹の調節が一
ら普通の蒸気機関が使へない、遺憾
な事がある、ある時相當な速力で潛
水した後に何氣なく泛びあがると驚

りけて見ると中には圓卓が一杯溢るまづ一等の禁物をさしこねばはならぬ。ばかりこいつて居てから一着服を脱つて脱ぐ。電池を使つてゐる、ガスリンは二次電池を使つてゐる、ガスリンは

貴公等、今までに何か一樂騒しか
火、船内で暴れ見る危険があるので
知らぬ間に、管からもれて、時には
圓くして仰天したさうな
圓くして仰天したさうな
圓くして仰天したさうな

○互に顔見合せて呆然たる一座の光
景を心地善げに眺めながら客は信玄
がある近侍の者は一番搶ての御褒美だ
最初は各國共に二十日鼠を飼つてゐ
進めば遺憾ながら向ふ様のドテツ腹
へ突きこむの外はない、相手の往生

感袋の中から新らしい、綺麗さうな十圓の敵の大將を討ちとつた時だと當たり束をかき出しそうに居る。▲廿日鼠・まガスリンにあてられるは無論だが手前の方も無事ではすまへ、もれぬ運びにならう。

毒座の面々に鉗々十圓札一枚宛を祝儀
大久保彦左だけは云ふ事も毛色が變
て直ぐ整息するから危険を豫知する
總身の血は一時に頭へこみあげた、

貴に遣つて揚々として引揚げたのは近づてゐた「彦左大阪陣で苦戦の砌草事ができるといふのであつた。ところソレツといふ間に少佐は、何んな處來の珍聞だが其成金に就ては昨今同葉にかくれて數日

▲溜物を押出した時が一番愉快で日鼠をかつてみたがガスリンにあて何でも急角度の潜水をやつたらしく地花柳界で喰取りくださうな

一十分潜航記

窮屈な潜水艇さ人間の調節でもおなじ新式の艇ができるて正十三年鳥が巣文珠山の戦ひに一番乗る一番船一番首をあげてから以來戦へる。これが甚だ不思議である日本の二乗く船と自分が命合ひをして事を歎く事無事と落付いて浮び上つた時に

其海軍の威力を添へるのは有難いこと
場往來の古武者であるだけに其の辭
れないとあつて
なんだいふろの時の記憶は想出して
なんぞ

なれど、どうの新式の敵は海軍軍人でも部外の者は滅多に拜見を許されない。曰く「野雪隠地藏」しばらく刀番」の▲御苦勞 千萬にもわざわざ英國から二十日鼠^{ムラサキ}を輸入して式餌^{シケイ}として、もソツ^{ソツ}とする。語づけた同少佐が一度演習に潜水した時船はビタリと海底に

はのだから元よりわれらの見参にいる穿つた處はこの實際味から出發してべくもな、自分の乗つたのは、いろいろ比の乗組員は悉くこの實際味こべが奴さんの元氣な事は日本ものへ沈んだまゝ何うしたか浮び上らぬ。何んなにバルブを忿つてもタックの

い
うな滑稽話を産みだした時代のもの
共鳴する産左黨である吾國の潜水船
機能はないに刺け有名な鼠の小便器ご
こ變りはない、これでは危險豫報の
排水ができないで船は膠付けのやう

で百噸あまりの小艇ではあり彼の大西洋を横ぎたドッチエランドな見

令太田少佐は第三號挺を指して「この船はうち乗組員を免められた、潜水船用の潜水装置で、日本鼠はそれから以來、潜水船の乗組員ももうかうなつたら窒息して死ぬる」と云ふ。

式潜水艇は練習用に使はれて未來のある用を足す時には天幕を四方へはして、二十日鼠が費目に書き込まれ
▲故障かそれで漸くの事に浮び上

うなつてとても大きくなるだけ其れ丈機械は廁にのばる

も錯難するから空間として大きさは
▲必要がなくなる人體の調節も精
神作用で周囲の状況とピタリと一致
す延長の苦心といつたら一直りでな
く、長い間の心地は幾分ながら味ふ
こ事ができた。自分のものとの時の心持

だの食堂だの雪隠だのと贅するから妙であります」と語つた人い、要所々々はいづれも腹心の部下から推して大尉の覺悟の立派であつ

卷之三

●徵集猶豫出願者
の注意事項

●雜報

大正七年度の徵集猶豫出願期日が切迫した、伯國に在留する同胞の中での徴集猶豫出願上必要とする、在留證明書を、當市帝國總領事館に願出づるに、往々書式を違へたり、手數料の不足を醸したりして總領事館に餘計な手數を懸けるのみらず、之が爲めに證明書の下附が遅れる様なことあるさうである、大正七年度からはさう云ふことのない様に爰に是非注意しなければならぬ必要事項を掲げたから、出願者は勿論出願者以外の人も之を讀んで若い連中に注意してやつて貰いたいものである。

▲年齢に關する件 徵兵令第二十三條第二項に據り大正七年度に於て徴集猶豫出願上必要とする在留證明書の下附を在サンパウロ帝國總領事館に願出づべき者は

明治十九年四月十五日より同三十一年十一月卅日迄に生れたる者とす、此の件に關する特點

特に注意しなければならぬことは、

初年度に於て徴集猶豫出願の手續を怠りたる者は永久に猶豫の特點

を失ふとのことである。

▲手數料 在留證明書下附の手數料は一件伯貨二ミル百レイス(手紙にて依頼の場合は更に伯貨二百レイス添送のこと)

但し同耕地又は最寄の人人ご合併送金は毫も差支なし

▲願書書式 在留證明願の書式左の如し

在留證明願 本籍 府 郡 村 大字 番地 在留地 伯國 州 何 某 明治年月日生

記ノ場所ニ在留ノ儀御證明被成下度

雨天の爲め珈琲の精荷に手間取りた

此段奉願候也 大正年月日 右 何 某

在サンパウロ 総領事 松村直雄撮影

(此の處總領事證明の爲め)

(三寸程餘白を残すこと)

一、注意 出願年月日は大正七年一月一日記入のこと

二、印鑑 を所持せざる者は押印すべし

三、願書 は必ず二通を認め差出す

四、郵便 を所持せざる者は押印す

五、印鑑 を所持せざる者は押印す

六、郵便 を所持せざる者は押印す

七、印鑑 を所持せざる者は押印す

八、郵便 を所持せざる者は押印す

九、印鑑 を所持せざる者は押印す

十、郵便 を所持せざる者は押印す

十一、印鑑 を所持せざる者は押印す

十二、郵便 を所持せざる者は押印す

十三、印鑑 を所持せざる者は押印す

十四、郵便 を所持せざる者は押印す

十五、印鑑 を所持せざる者は押印す

十六、郵便 を所持せざる者は押印す

十七、印鑑 を所持せざる者は押印す

十八、郵便 を所持せざる者は押印す

十九、印鑑 を所持せざる者は押印す

二十、郵便 を所持せざる者は押印す

廿一、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿二、郵便 を所持せざる者は押印す

廿三、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿四、郵便 を所持せざる者は押印す

廿五、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿六、郵便 を所持せざる者は押印す

廿七、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿八、郵便 を所持せざる者は押印す

廿九、印鑑 を所持せざる者は押印す

三十、郵便 を所持せざる者は押印す

卅一、印鑑 を所持せざる者は押印す

卅二、郵便 を所持せざる者は押印す

卅三、印鑑 を所持せざる者は押印す

卅四、郵便 を所持せざる者は押印す

卅五、印鑑 を所持せざる者は押印す

卅六、郵便 を所持せざる者は押印す

卅七、印鑑 を所持せざる者は押印す

卅八、郵便 を所持せざる者は押印す

卅九、印鑑 を所持せざる者は押印す

四十、郵便 を所持せざる者は押印す

廿一、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿二、郵便 を所持せざる者は押印す

廿三、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿四、郵便 を所持せざる者は押印す

廿五、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿六、郵便 を所持せざる者は押印す

廿七、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿八、郵便 を所持せざる者は押印す

廿九、印鑑 を所持せざる者は押印す

三十、郵便 を所持せざる者は押印す

卅一、印鑑 を所持せざる者は押印す

卅二、郵便 を所持せざる者は押印す

卅三、印鑑 を所持せざる者は押印す

卅四、郵便 を所持せざる者は押印す

卅五、印鑑 を所持せざる者は押印す

卅六、郵便 を所持せざる者は押印す

卅七、印鑑 を所持せざる者は押印す

卅八、郵便 を所持せざる者は押印す

卅九、印鑑 を所持せざる者は押印す

四十、郵便 を所持せざる者は押印す

廿一、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿二、郵便 を所持せざる者は押印す

廿三、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿四、郵便 を所持せざる者は押印す

廿五、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿六、郵便 を所持せざる者は押印す

廿七、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿八、郵便 を所持せざる者は押印す

廿九、印鑑 を所持せざる者は押印す

三十、郵便 を所持せざる者は押印す

卅一、印鑑 を所持せざる者は押印す

卅二、郵便 を所持せざる者は押印す

卅三、印鑑 を所持せざる者は押印す

卅四、郵便 を所持せざる者は押印す

卅五、印鑑 を所持せざる者は押印す

卅六、郵便 を所持せざる者は押印す

卅七、印鑑 を所持せざる者は押印す

卅八、郵便 を所持せざる者は押印す

卅九、印鑑 を所持せざる者は押印す

四十、郵便 を所持せざる者は押印す

廿一、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿二、郵便 を所持せざる者は押印す

廿三、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿四、郵便 を所持せざる者は押印す

廿五、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿六、郵便 を所持せざる者は押印す

廿七、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿八、郵便 を所持せざる者は押印す

廿九、印鑑 を所持せざる者は押印す

三十、郵便 を所持せざる者は押印す

卅一、印鑑 を所持せざる者は押印す

卅二、郵便 を所持せざる者は押印す

卅三、印鑑 を所持せざる者は押印す

卅四、郵便 を所持せざる者は押印す

卅五、印鑑 を所持せざる者は押印す

卅六、郵便 を所持せざる者は押印す

卅七、印鑑 を所持せざる者は押印す

卅八、郵便 を所持せざる者は押印す

卅九、印鑑 を所持せざる者は押印す

四十、郵便 を所持せざる者は押印す

廿一、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿二、郵便 を所持せざる者は押印す

廿三、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿四、郵便 を所持せざる者は押印す

廿五、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿六、郵便 を所持せざる者は押印す

廿七、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿八、郵便 を所持せざる者は押印す

廿九、印鑑 を所持せざる者は押印す

三十、郵便 を所持せざる者は押印す

卅一、印鑑 を所持せざる者は押印す

卅二、郵便 を所持せざる者は押印す

卅三、印鑑 を所持せざる者は押印す

卅四、郵便 を所持せざる者は押印す

卅五、印鑑 を所持せざる者は押印す

卅六、郵便 を所持せざる者は押印す

卅七、印鑑 を所持せざる者は押印す

卅八、郵便 を所持せざる者は押印す

卅九、印鑑 を所持せざる者は押印す

四十、郵便 を所持せざる者は押印す

廿一、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿二、郵便 を所持せざる者は押印す

廿三、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿四、郵便 を所持せざる者は押印す

廿五、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿六、郵便 を所持せざる者は押印す

廿七、印鑑 を所持せざる者は押印す

廿八、郵便 を所持せざる者は押印す

廿九、印鑑 を所持せざる者は押印す

婦人欄

ANTUNES DOS SANTOS & COMP.

AGENTES DAS COMPANHIAS

NIPPON YUSEN KAISHA :: OSAKA SHOSEN KAISHA

御用の方は左記代理店へ御照會ありたし
アンツ一ネス、ドス、
サントス會社

告示

今般當館に於て在留日本人土地所有者名簿を作成候に付 土地所有者は至急左記の事項を届出相成たし

出相成だし
一、原籍姓名
二、土地の所在地及最近停車場名
三、土地の面積及買入地價
四、地價全部拂込済の上地券所有の有無
五、年賦拂込の者は其拂込の方法及契約の
時日并に拂込済金額

大正六年九月告示

三

在サンバウロ市

帝國總領事
Caixa Postal 1167
S. PAULO

巴
西
利
亞
郵
局